指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

施設所管課	こども未来部　こども・若者政策課

施　設　名	木戸つどいの広場
指定管理者	NPO法人　子育てネットワーク志賀うりぼう
指定期間	令和7年4月1日　～　令和10年3月31日
指定管理料	年額6，613，000円 （令和7年度）　（総額20，628，000円）
設置目的	地域の子育て支援機能の充実を図ることにより、親の子育てに関する不安感等を緩和するとともに、子どもが健やかに育つことに寄与するため。
業務内容	・子育て中の家族の交流の機会及び場所の提供 ・子育てに関する相談及び講座の実施 ・子育てに関する情報の提供 ・子育てに関する事業を行う者等との連携及び調整

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	利用者のニーズにあった事業展開をされ、利用者数は昨年度に引き続き、前年度比増加となり目標値を上回った。 利用者増となるよう事業の内容や手法を考察された結果、一定講座参加人数に反映されている点は評価できる。 利用者の少なかった事業については分析結果を活用し増加につなげたい。 収支状況については、経費削減の努力をなされたが、人件費の高騰の影響もあり予算を超える執行となった。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	施設の設置目的を踏まえて管理運営に努めている。今年度は規定通りに実施した	B（良好）	施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努められている。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	各事業に適切に職員を配置するようにしている。ひろばのシフトを既定の2人体制にしたが少ない人数でも対応できるように工夫するとともに安全面に配慮して必要な時は増員するようにした。	B（良好）	事業計画に沿った、人員を配置をされている。 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正である。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	例年通り、消火訓練や小児救急救命法研修を実施。その他、外部講師による研修も行った。	B（良好）	事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施されている。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	法令、条例の順守に努めた。	B（良好）	関係法令、条例等を遵守されている。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	協定書に基づき、適切に行っている。個人情報に関する書類については鍵付きロッカーで管理している。	B（良好）	個人情報の保管等取り扱いは適正に行われている。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	業務日誌は適切に整備保管している。点検結果も常時記録保管している。	B（良好）	業務日誌、点検結果とも適正に整備、保管されている。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	必要事項については直接電話やメール等で随時連絡しており、事業計画書、事業報告書、会計報告書等、毎月提出した。	B（良好）	随時連絡調整をとり事業運営がされている。事業報告書等の提出も適正である。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	緊急時の連絡については、スタッフにはLINE等を使っての連絡体制が整っている。木戸市民センターの避難訓練に参加し、消防署の救命法講習を受けた。	B（良好）	有事に備え訓練を実施している。 緊急時の連絡体制は確保されている。マニュアルは適切に整備されている。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B （良好）	開館日、開館時間は順守している。事故防止、安全への対策は日頃から気を配っている。	B （良好）	開館日、開館時間は遵守されている。 点検・確認を行い事故防止に努めている。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B （良好）	第１期・第２期・第３期とも利用者が増えた。第２子第３子を連れて来られたり、週に複数回利用される人が増えた。	B （良好）	前年度と比較すると増加している。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B （良好）	修繕費がかからなかったので、その分で新規のおもちゃや大型絵本の購入ができ、利用者には大変喜ばれている。	B （良好）	利用者への対応は適切に行われている。 設備、備品等は適切に提供している。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B （良好）	事業計画書に即し、事業を計画通りに実施した。BP3を今年度初めて実施し、参加者は少なかったが、好評だった。	B （良好）	事業は計画書とおり実施されている。 利用促進に向け、積極的に取り組んでいる。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	自主事業計画書に則って、事業を進めている。また利用者のニーズに沿った事業を提供できるよう、ひろばで聞いた意見をスタッフ間で共有している。	B（良好）	利用者のニーズに沿った講座内容を検討し、実施されている。 施設の設置目的に沿った自主事業を実施されている。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	A （優良）	評価項目についてはすべて実施できている。今年度修理が必要なところが多かったが、高額であったため、市の修理になったところが多かった。懸案事項だった自動ドアや雨漏り箇所が修理してもらえてよかった。	B （良好）	施設、設備の点検や清掃は定期的に行われている。 必要な修繕も迅速に対応されている。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B （良好）	通信やHP、LINE公式アカウントも継続しながら、インスタグラムによる発信もしている。	B （良好）	通信紙の発行やHP、SNSにより情報発信がなされている。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B （良好）	古紙回収、シュレッダーゴミの回収等、資源回収に積極的に参加している。	B （良好）	古紙回収や不用品のリサイクル推進に努めている。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B （良好）	誰もが安心して利用できるように室内の色彩や掲示物などに配慮している。	B （良好）	ユニバーサルデザインへの配慮の意識を持ち、適切に対応されている。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B （良好）	要望、苦情についてはスタッフ間で共有し、できるかぎり誠意を持って対応するようにしている。また、	B （良好）	意見箱の設置やひろばでの見守りの中で、要望や意見に対し迅速に対応されている。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B （良好）	１０月のひろばアンケートの結果はスタッフ間で共有し、対応できるものについて検討し、改善に努めた。	B （良好）	利用者アンケート調査を実施、利用者の満足度やニーズを積極的に把握し、また反映した、ひろばの運営がなされている。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施11項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B （良好）	日々の会計処理は迅速に行っている。専用口座、帳簿等も備え、経理事務は適切に行っている。	B （良好）	専用口座、帳簿を備え、適切に経理事務が行われている。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B （良好）	経費削減努力や計画的な経費の支出を行い、必要備品の購入にもつなげることができた。	B （良好）	人件費の高騰の影響はあるが、経費削減の努力もなされており、概ね収入に見合った支出となっている。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B （良好）	経費削減については、これまでの成果を生かしながら、最大限のパフォーマンスができるように継続して工夫を重ねた。	B （良好）	経費削減に向けた取り組み、努力を積極的に実施している。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	
Ⅳその他（独自の取組等）	**その他** □ 努力事項として掲げた「利用者増につながる、気軽に参加できる講座やイベントを企画する」取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	A （優良）	イベントや講座の内容や開催方法、周知の仕方などを検討し、集客につながるように努力した結果、利用者が増えた。	B （良好）	気軽に相談できる雰囲気づくりに努められている。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		**A（優良）**		**B（良好）**	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

主な成果（全体）

利用者数	目標	7,000 人	⇒	実績	7,378 人
講座開催数	目標	108 回	⇒	実績	90 回　※開設数は106回（うち16回　申込みなし）
講座参加人数	目標	1,150 人	⇒	実績	1,166 人

【指定管理者コメント】

3月の利用者が多く、利用者数は目標数値に達した。第2子第3子の早期の利用や、定期的に週に複数回利用される人があった。また、保育園の入所待ちで祖父母が子守をしている家族や、平日でも育休などによる父親の利用も多かった。これまでの母子支援とは少しニーズが変化していることを感じた。イベント系の講座の参加者数が増えたのも最近の傾向かと思われる。ついては内容と周知方法を検討し改善に努めたことが利用者の増加につながったと考えている。そのような中でも日々のひろばでの対応に力を入れており、年度末に初めて利用された方から「聞いていた通り居心地の良い場所ですね。」という声もいただき、スタッフとの会話の中で生まれる安心感や、わからないことを気軽に聞ける雰囲気が、居心地の良い場所だと思っていただけるのだと考える。より丁寧な支援が個別にできる環境にあることを来年度も大切にしたいと思っている。

【施設所管課コメント】

父親の利用の増加は他のつどいの広場においても同様の傾向があり、ニーズを把握し活動に反映しながら丁寧に事業を実施し、実際に利用者数の増加にもつながった。周知方法についても工夫を重ね利用者の来場を促し、安心して安全に利用していただくことができた。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
ぴよっこ	指定自主事業	0歳児の保護者対象のおしゃべり会・外部講師による講座	実施	毎月2回水曜日（学校園の休業期間を除く）
こけこっこ	指定自主事業	1，2歳児の保護者対象のおしゃべり会	実施	毎月第3水曜日（学校園の休業期間を除く）
ふわふわファミリーのつどい	指定自主事業	親子で楽しむイベントと、お誕生日会	実施	毎月1回実施（8月は除く）
にじっこ迷路	指定自主事業	夏休み特別企画として「学び愛ひろば」に設置	実施	8月3日～15日に実施
食育講座	指定自主事業	離乳食講座「マンマ」と幼児食「おにぎりの日」隔月での実施	実施	毎月1回実施
工作の日	指定自主事業	親子で楽しむ簡単な工作	実施	毎月1回実施
絵本の日	指定自主事業	読み聞かせと手遊びや歌	実施	毎月1回実施
虹の日（相談日）	指定自主事業	公認心理師による発達相談	実施	毎月1回第1水曜日に実施
リフレッシュ講座	指定自主事業	ストレッチ、ヨガ、バレエ等の託児付き講座	実施	毎月1回実施
子育てパパの交流会	指定自主事業	子育て中の父親のおしゃべり会を日曜日に開催	実施	学期に1回実施
BP3プログラム	指定自主事業	親子の絆づくりプログラム”幼児とともに”	実施	10月に1クール5回実施
にじっこ防災DAY	指定自主事業	抱っこ紐の使い方・地震へのとっさの対応・防災ビンゴなど、利用者の防災意識を高める取り組み	実施	年間1回1月に実施
リラックママ	指定自主事業	子育てサークル支援事業	実施	サークル代表者会議、サークル交流会の実施 部屋貸し、託児用おもちゃの貸出
なないろBASE	指定自主事業	保護者のリフレッシュ支援事業	実施	随時
育児用品リサイクル　事業	自主事業	不要になった育児用品をリサイクル	実施	随時

【指定管理者コメント】

努力事項として揚げた「利用者増につながる、気軽に参加できる講座やイベントを企画する」取り組みはより推進できたと思う。長年継続している夏休みの「にじっこ迷路」は相変わらずの人気であった。新年度になる度に「今年はどんな迷路かな」と聞かれるほど、浸透してきている。「にじっこ防災DAY」についても、昨年同様の形で実施し、参加者も一定数確保できた。また、消防署とコラボした「春の火災予防運動」の取り組みも、利用者増につながったと思われる。「子育てパパの交流会」は実施できたものの、残念ながら参加者は少なかったので、新たな工夫の必要を感じる。「工作の日」については利用者の年齢層が0・1・2歳のため、内容を見直し、次年度はより小さい子がとりくめる内容に変更する予定である。「ぴよっこ」「こけこっこ」等のおしゃべり型のプログラムの参加が以前より少なくなってきているが、子育ての不安や悩みの解消、子育ての仲間づくりという観点では大変有意義なプログラムだと考えているので、内容を吟味しながら継続していきたいと思っている。

【施設所管課コメント】

利用者のニーズを分析し、地域の参加者増につながるよう講座を工夫されている。
子育て支援の働きかけも様々な形でされており、利用者の増加の努力もされている。。
参加者の少なかった父親向けの活動も、父親の利用自体は増えているので、よりニーズに合致した事業を企画できるよう検討を続けていただきたい。
満足度が高い事業もあり、長所を引き続き活かしつつ、工夫を重ねていただきたい。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

昨年度より継続して「利用者数の増加」を課題としていたが、今年度は利用者が増えた。第2子第3子の利用や、保育園待機組の祖父母の子守りの場所としての利用が増えたこと、また週に複数回利用される方が増えたことが、利用者の増加につながったと考えている。このことは、「にじっこ」がより地域の乳幼児の子育ての場として定着してきたともいえる。早くから保育園に入園する乳幼児が年々増加する中で、第2子第3子の早期からの利用が増え、0歳児からの支援が「ひろば」に求められているように感じている。今年度は特にイベントや講座をインスタグラムで適宜周知したことで、参加者が増えたケースがあった。また、講座の後もブログでその様子をお知らせすることでさらなる集客をねらう努力もした。その結果、参加者が増えたイベントや講座があった。

【施設所管課コメント】

多くの利用者に心地よくひろばを利用してもらうための環境の整備や事業の運営に取り組まれた。
利用者数増に向けて、引き続き工夫、検討を重ね、取り組んでいく必要がある。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順： 指定管理者自己評価 →（提出）→ 所管課評価 →（通知）→ 指定管理者 →（送付）→ 行政改革推進課（ホームページ等により結果公表）